

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

3

March, 2017

vol. 407

Contents

40周年記念式典・祝賀会報告...01

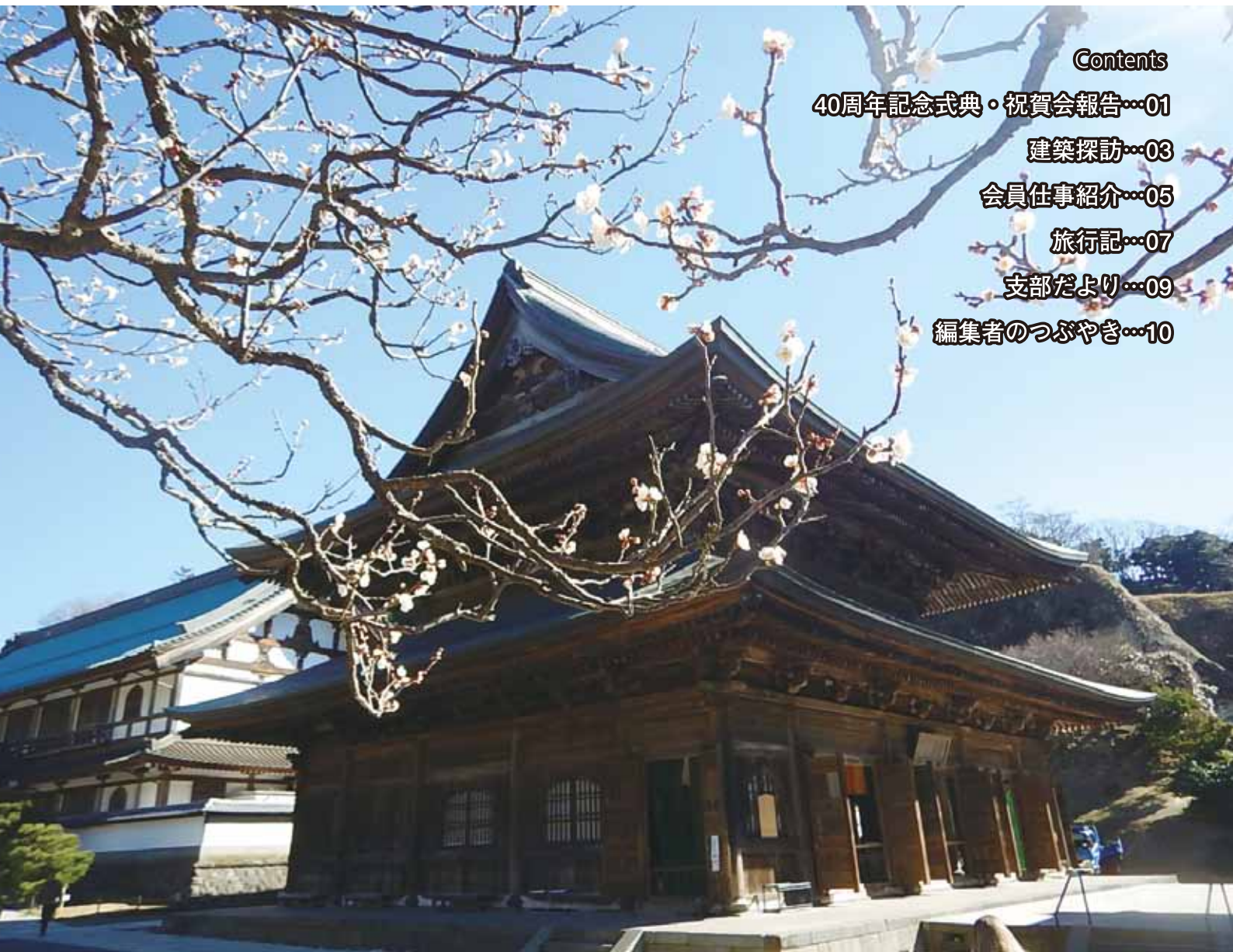
建築探訪...03

会員仕事紹介...05

旅行記...07

支部だより...09

編集者のつぶやき...10



設立40周年記念式典・祝賀会報告

御礼の言葉

さる平成29年1月27日に当会設立40周年記念式典、祝賀会には浅羽神奈川県副知事、富田湯河原町町長始め神奈川県、県下行政庁の建築行政幹部の皆様、大内日事連会長、日事連関東ブロックの単位会会長、副会長の皆様、関係団体等多くの御来賓に御臨席賜り盛大かつ成功裏に挙行出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

又、多くの会員の皆様にもご参加頂き、一緒に40周年を祝うことが出来たことは私にとってこの上ない喜びでありました。

これもひとえに白井実行委員長のリーダーシップのもと、一年かけて準備したおかげです。式典実行委員の緻密な準備で式典、祝賀会が滞りなく挙行され、未来に継ぐ応急仮設住宅コンペもハッカソン大会開催等様々な困難を乗り越えて立派な成果を上げられました。コンペ実行委員の皆様には頭の下がる思いで一杯です。又、広報委員会による40周年記念誌は表紙デザインはもとより内容も非常に充実し予想をはるか

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
会長 小林 忠志

に超えた立派な記念誌となりました。この記念誌は文字通り未来に継ぐ記念誌となることでしょう。

このように40周年記念式典、記念事業を1年かけて準備なされた実行委員長、各部門の実行委員の皆様には改めて心よりの感謝を申し上げます。

このように委員会の枠を超え一つの目標に一致団結出来る神奈川県建築士事務所協会を、私は誇りに思っております。本当に有難う御座いました。



40周年記念事業報告

神事協40周年記念事業は、1月27日の記念式典・祝賀会で、昨年の1月からスタートした事業の全てが終了することができました。

記念事業・記念誌・式典と三つの部分で進めていただいた中で、記念式典・祝賀会での盛り上がりが関係者一同安堵とともに喜びとなりました。

記念事業は、応急仮設住宅のコンペを湯河原町の協力で実施し、内容の濃い成果として今後の神事協に継がるものとなりました。記念誌は、この10年の支部・委員会の活動を含めて歩みを中心にまとめられ、若い世代の座談会の中に「未来に継ぐ神事協」のあり方の一部も見られました。また、多くの広告もいただき、神事協のこの時代の証として発行できました。記念式典・祝賀会は、多くの関係団体、会員、賛助会員の皆様の出席をいただき、盛大かつ和やかに開催でき

設立40周年記念事業実行委員長 白井 勇
ました。

この間40周年事業にご支援・ご協力いただきました全ての方々に深く感謝申し上げますとともに、今後の神事協の活動をさらに活発に出来るよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。



設立40周年記念式典・祝賀会報告

設立40周年記念式典・祝賀会

広報情報委員 恩田 耕爾

神奈川県建築士事務所協会は昭和51年に設立され、40周年を迎えました。1月27日(金)ロイヤルホールヨコハマにてその記念式典と祝賀会が催された。来賓として浅羽神奈川県副知事、甘利衆議院議員、森神奈川県議会議員、大内日事連会長様よりそれぞれ結構なご祝辞をいただきました。同時にホテル2階の会場にて「未来に生きる仮設住宅を問う」仮設住宅計画コンペティションの応募作品のパネル展示がされた。式典の中で神奈川県建築安全協会の吉田理事長より講評と富田湯河原町町長のご挨拶もいただきました。

歴代の建築士事務所協会の会長以下会員一同のご努力により、協会と世の中との接点が拡大されていくことを感じます。大内日事連会長か

らは、日事連も当初は3200事務所だったが現在は1万5千社になっているとのお話で事務所協会の役割も一段と大きくなったと感じます。祝賀会の方は建築士事務所協会と兄弟関係にある神奈川県建築士会の金子会長の乾杯の音頭で始まり、若い女性たちの威勢のいい音楽も楽しめるアトラクションもあり、盛り上がりました。それぞれのテーブルごとに会員同士の旧交を温めることができました。県下の多くの行政関係者と日事連の関東1都8県のご参加もいただき500人からの盛大な式典を催すことができました。とても感謝いたします。40周年が50年、60年と続く礎が築かれたと思える大会になりました。ありがとうございました。



甘利衆議院議員挨拶



大内日事連会長挨拶



富田湯河原町町長挨拶



40周年記念誌表紙デザイン受賞者



特別功労者記念撮影



仮設住宅計画コンペ展示風景



祝賀会の様子



アトラクション

建築探訪

大和市文化創造拠点シリウス

綾瀬大和支部 株式会社コイグチ一級建築士事務所
小井口 英寿

大和駅東側第4地区第一種市街地再開発事業により進められました大和市文化創造拠点シリウスが2016年11月にOPENしました。



大和駅よりの外観

SRC一部S造地下1階地上6階建て延べ面積25,865㎡のこの施設は、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場の4つの中核で構成されており、子供から大人まで多くの人々が集える施設となっております。



主要入口

アクセスは小田急江ノ島線・相鉄本線大和駅より、毎月大和骨董市が行われている、やまプロムナードを歩いて3分です。

施設入口脇にFMやまとの放送スタジオがあり、市政情報や地域に密着した情報を放送しております。



メインホール入口

1階、2階フロアはメインホール、サブホール、ギャラリー、市役所連絡所と新刊本や雑誌が気軽に読めるコーナーとスターボックスがあり、幅広い年齢の方々が、ゆったりと読書を楽しんでおりました。



1階読書スペース

3階フロアは、楽器やコーラスの練習に適したピアノやドラムを完備したスタジオのエリアと、施設を利用する間、子供を預かってもらえる保育室、こども図書館、絵本の読み聞かせスペース、子供専用のシアターブース、乳幼児を対象とした広場、トランポリンや滑り台、ボールプールなど遊具が充実している広場など、こどもが思い切り遊んで学べるエリアとあり、広場では子供たちが走り回り元気いっぱいに遊んでおりました。



子供専用シアターブース

4階フロアは、シアターブース、新聞、雑誌、漫画などを室内外で気軽に読めるエリアと体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、能年齢測定器などが自由に利用できるエリアで構成されており、テラス席では仲間同士で勉強している学生や、その奥では年配の方が談笑していて、多目的に利用できるフロアとなっております。

5階フロアは、図書館として、静かな環境で読書や勉強ができる読書室、地域資料コーナー、専門書が並ぶ図書コーナー、点字図書室や活字による読書が困難な方のための対面朗読室が設けられており、様々な方が読書を楽しめる図書館となっております。探訪当日は受験シーズンの前でしたので、赤本を持ち込んで勉強する学生の姿が印象的でした。



図書コーナー

6階フロアは、生涯学習センターとして、防音設備を完備した講習室、用途、人数に合わせて利用できる広さの会議室、調理台と各種調理器具を完備した調理実習室、お茶・お花などの習い事に利用できる和室、自由に利用できる眺め

のよい交流スペースがあり、勉強の休憩に利用している学生や趣味のサークルで集まった仲間との交流の場となっています。



会議室

また、この施設が建てられる敷地内に以前から建てられておりました大和天満宮が、建物の南側の2階屋外にあり、1階屋外通路より緩やかなスロープと階段で参拝ができるようになっております。



2階屋外にある大和天満宮

地域のこどもから大人まで多くの人々が集える施設、また芸術の発信地としての芸術文化ホールに今後期待したいです。

会員仕事紹介

とちょう保育園

川崎支部（有）上原建築設計事務所 上原 伸一

JR関内駅舎内に保育園を設置するなど、待機児童対策ニュースに関するニュースが後を絶ちません。都庁内保育園（とちょう保育園）も、小池新都知事の話題と重ね合わせ、東京都の待機児童対策のシンボリック存在としてテレビで報道されましたが、ご覧になった方も多いかと思います。

とちょう保育園は、都職員と近隣企業にも開放された事業所内保育所で、一昨年の運営法人決定から、設計、工事を経て、昨年秋に運営が開始されました。あの東京都庁舎議会議棟一階の都民広場に面した場所に、既存スケルトンを残し内部改修し用途変更されたものですが、関係法規、設置基準への適用の他に、既存外周部及び一部内部のモチーフを残すなど既存との調整をしながら設計は進められました。このような状況の中で、安心安全で法人の運営し易い施設を、既存開口を生かしながら変形（扇型）しているスペースに効率的にレイアウトすることがポイントでした。

530㎡の面積と高い空間の既存形態に対し、既存を最大限生かして、無駄な空間を無くす基本方針のもと、廊下を極力無くし、動線を中心に多目的ホールを配し、事務所は目が届き易くオープンにする案を採用。セキュリティ、寒さ対策、木質化（多摩産材）等の要望も踏まえ、採光が充分確保された南向きの保育室、木の香りの溢れる施設、室内でも体を動かし遊ぶことのできる多目的ホールを実現しました。

この施設は運営面でも、保護者支援として、当日延長、体調不良児対応、早朝登園親子にモーニングカフェ、手ぶらで登園などの新たな取り組みが行われ、今後地域の大切な施設として永く利用されることと確信しています。



都民広場



保育室



多目的ホール

会員仕事紹介

(仮称) 縁覚寺本堂補強工事

川崎支部 槇の木設計 槇 隆哉

縁覚寺は小田急線鶴川駅から程近い大蔵町の山の上に昭和46年に本堂が建立された日蓮誠宗の寺院です。

墓地を除く1400坪あまりの敷地は開山堂、聚霊堂、信行道場などを擁する閑静な伽藍となっています。

今回は本堂付属の庫裏の建替えに伴い、同一棟扱いとなる本堂の補強工事を行ないました。

既設本堂は10本の独立柱を主体とする伝統工法による木造で格式のあるたたずまいが特徴と

なっています。

本来の形状、雰囲気損なわずに補強を行う旨、重要文化財基礎診断実施要領に基づき、限界耐力計算により既存の腰壁、欄間、壁への筋交いフレームの設置、床下の筋交い、小屋裏の鉄筋補強と合わせて所定の強度得ています。

補強工事の結果使用勝手を含めて内観、外観ともすべて違和感無く元通りに復旧することができました。



着工前外観



着工前内部



小屋裏鉄筋補強



床下フレーム設置状況



欄間フレーム設置状況



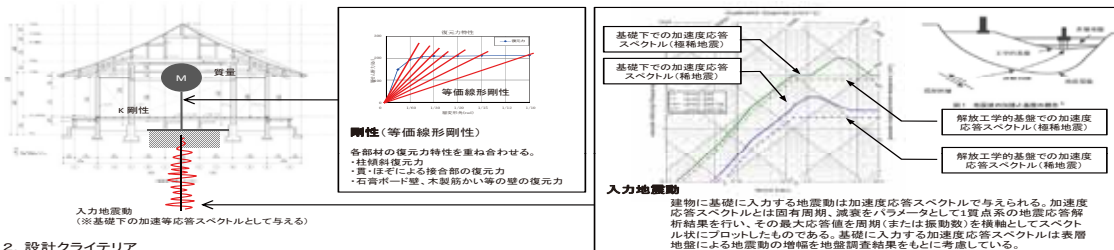
腰下フレーム設置状況

縁覚寺耐震診断概要

株式会社 増田建築構造事務所

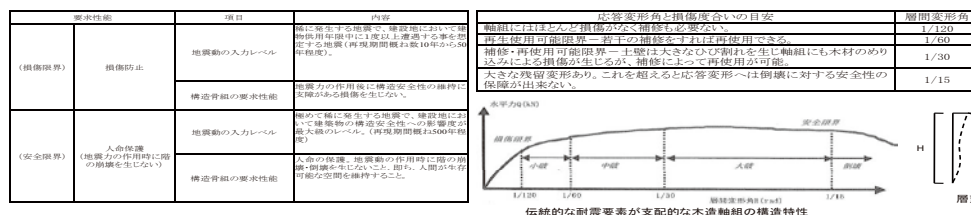
1. 限界耐力計算の方法

- ・耐震診断の計算方法は「重要文化財(建築物)基礎診断実施要領」に拠り診断する。
- ・限界耐力計算は建築物を1質系に簡約し応答解析を行うことで、建築物に作用する加速度・速度・変位を直接求められる。



2. 設計クライテリア

- ・建築基準法で定める、「稀に発生する地震」に対しては「損傷防止」、「極めて稀に発生する地震」に対しては「人命保護(倒壊しない)」を目的に設計クライテリアを設定する。設計クライテリアは建築物の高さHを地震時の変位δで除した層間変形角で規定する。



補強計画のイメージ

設計・監理：槇の木設計及び(株)増田建築構造事務所 施工：井端建設(株)

旅行記

国会議事堂と都内施設見学 「名物牛重弁当に舌鼓」

秦野支部 有限会社田代建築設計計画
田代 茂夫

平成28年12月9日、年末に入りあわただしい時期ではありましたが、「国会議事堂と歴史建物見学」を実施することにしました。国会が比較的落ち着いているうちに、ということで準備を進めたのですが会期延長という状況の中での見学となってしまいました。今回の計画は牧島かれん衆議院議員秘書、二本木氏のご協力をいただき実現しました。当日朝7時30分秦野駅南口を出発し、平塚駅で平塚のメンバーと合流し、一路霞が関に向かいました。途中渋滞もあり、予定の10時を少し回り到着すると議員会館側の入り口で二本木氏が待っていてくれました。二本木氏は「やっと着いたか!」と思っておられたでしょうがもちろんそんな顔は見せずに笑顔で「特別参観証」なるネームプレートをいただき、それぞれ首にかけると、早速国会議事堂に入ります。国会内には予想外に修学旅行らしき学生や一般の見学者が多いことに驚きました。最初に回ったのは衆議院議場です。正面入り口の廊下には多くの見学者であふれ、中に入るのは困難に見えましたが、そこは特別参観証、二本木氏はサイドに移動し、人のいない入口から内部へと案内してくれたのです。そこからは国会中継でおなじみの議場が一望でき、天皇陛下や国賓の席など説明を受けながら見学をすることが出来ました。その後国会内部の案内をいただき、最後に案内していただいたのはこちらでもテレビ中継でも良く目にする第一委員室、ここでは平塚支部の田中氏が議長席に座り議長気分を味わっていました。第一委員室から議事堂正面に出たところで午前中の審議を終えた牧島議員が合流していただき、まずは晴天の下で記念撮影、ここから議事堂に戻り地下の通路でつながっている議員会館に移動しますが、ここでもひもの色が違う参観証に架け替えるのです。会館の一室に案内され、牧島議員から国会や議員活動について、今までの体験なども含め説明をいただきました。特に国会中は昼夜に関係なく審議が続くことや、当日にならないとその日の予定が組めない変則的な日常であることなどのお話のあと、質疑に応じ、午後からの審議の時間のため再び議場へ向かわれました。私たちはそこでこの会

館名物という牛重弁当を広げ昼食にしました。これが国会議員の耐力を支えるエネルギー源か! うん、なかなかおいしい!! 会館には売店もあり国会土産も売られています。少々安易な国会饅頭、国会せんべい、国会クッキーなどが並びます。とは言えせっかくの機会ですから少し買い物をし、国会と別れを告げました。次の予定は旧岩崎邸です。三菱財閥岩崎家の本邸として国の重要文化財に指定されていることは広く知られています。現存する洋館は3代目岩崎久弥により建築されたもので、設計はJ・コンドルが手掛けたものです。当時のJ・コンドルの作品としては装飾性が強く表れていると言われています。ここでも屋根の漏水修理のため外部回りには足場がかけられていました。内部は贅を尽くした天井の装飾や床タイルなどイスラム風のデザインが施されるなど様々な様式が取り入れられた重量感あふれる造りを堪能しました。予定の時間になり、急ぎバスに乗り込みます。最後に向かったのは江東区にある深川江戸資料館です。ここでは説明員の方が案内してくださったのですが、館内には地下1階から地上2階間までの吹抜け空間に創られた江戸深川佐賀町の庶民が暮らした街並みを見ることが出来ます。当時の船宿や米屋、長屋などの生活が忠実に再現され、音響や照明も工夫され、本当に江戸時代の世界に迷い込んだようです。説明員の丁寧な説明に耳を傾けたあと、それぞれが“町内”を回り、今日一日の研修を修了したのです。



神奈川県建築士事務所協会 国会見学【平成28年12月9日(金)】



TVでもおなじみの衆議院議場



議員会館から国会議事堂を見る



晴天の国会議事堂



第一委員室



議長席でご満悦の田中氏



議員会館名物牛重弁当



旧岩崎邸和館



重厚感を感じる旧岩崎邸内部



庭園に建てられた撞球室内部



深川江戸資料館で説明を聞く



地階から地上2階に建つ火の見櫓



江戸時代の長屋を再現

支部だより

相模原支部紹介

相模原支部副支部長 杉本 勝郎



小林会長あいさつ

昨年末、当支部で取り組んできた「相模原市協働事業提案制度」で2つの採択を得ました。

事務所協会として行政との協働事業につきましては伊勢原市や藤沢市等色々な行政とのタイアップを図っているところですが、採択にこぎ着けたのは相模原が最初になるようです。

採択された2つの事業は「魅力ある商店街を育てる景観街づくり事業」と「空き家を生かしたしくみと暮らしやすい街づくり事業」です。前置きが長くなってしまいましたが、これを受け当支部では2月14日相模大

野ユニコムプラザさがみはらにて「第1回景観と空き家の新規事業講習会」を行いました。

当日は30名を越す参加者を集め、相模原市、藤沢市、座間市の行政担当者の参加を始め他支部からの参加者も多数ありました。

講習は、二部構成とし第一部は ①協働事業のあらまし②景観まちづくりと空き家対策の現状とこれから③景観ってなに？の内容での説明を行いました。

第二部は、景観と空き家の2グループに分けディスカッションの時間です。1時間の意見交換が非常に短く感じる程参加者の熱意がうかがえる時間でした。

いよいよ動き出した協働事業ですが、これから会員の仕事につなげる意欲的な取り組みとして波紋は大きいと感じます、第2回第3回のこうした集まりを続け事務所協会のますますの繁栄につなげたいと思います。



講習風景



ディスカッション風景

新入会員のご紹介

1月入会者

横浜支部

ジェノシー級建築士事務所 安井 仁
〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢6-34-4
TEL.045-301-6572 FAX.045-568-3767

小岩構造設計事務所 小岩 豊
〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南4-15-1-804
TEL.045-942-5183 FAX.045-942-5183

横須賀支部

クマージュ級建築士事務所 上原 一男
〒239-0813 横須賀市鴨居1-49-14
TEL.046-895-1480 FAX.046-895-1444

鎌倉支部

株式会社 楽居 早崎 ななみ
〒248-0025 鎌倉市七里ヶ浜東2-32-5
TEL.0467-55-8812 FAX.0467-55-8813

平塚支部

大塚正英一級建築士事務所 大塚 正英
〒259-0111 中郡大磯町国府本郷11-3
TEL.0463-71-7212 FAX.0463-71-7212

2月入会者

川崎支部

株式会社創建一級建築士事務所 渡邊 知一郎
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東2-926-15 マノア武蔵小杉501
TEL.044-948-5125 FAX.044-948-5126

株式会社岩田屋一級建築士事務所 岩沢 克政
〒210-0001 川崎市川崎区本町1-4-1
TEL.044-222-5450 FAX.044-200-0339

県西支部

株式会社工務ハナオカ 花岡 重徳
〒256-0815 小田原市小八幡4-11-9
TEL.0465-47-6894 FAX.0465-47-9565

退会者

横浜支部

株式会社ウィズハウスプランニング一級建築士事務所 伊藤 祐滋
ブルーポイント一級建築士事務所 吉川 文子
株式会社コア建築設計工房 須永 信一

横須賀支部

三洋建設株式会社一級建築士事務所 田中 正幸

鎌倉支部

山田建築設計事務所 山田 泰照

伊勢原支部

株式会社サンケンエクステリア二級建築士事務所 萩原 清光
有限会社石井工務店一級建築士事務所 石井 匡志

相模原支部

飯村慎建築設計 飯村 慎

県西支部

池田建築設計事務所 池田 透雄

変更

横浜支部

日産ネットワークホールディングス株式会社
(指定代表者変更) 中田 俊一郎

有限会社O. N. I建築研究室
(所在地変更) 〒232-0017 横浜市中区宿町3-56アップアロー202

リストコンストラクション株式会社一級建築士事務所
(事務所名変更) 旧) リストマネジメント株式会社一級建築士事務所

有限会社システムデザイン一級建築士事務所
(指定代表者変更) 岩上 徹

ナイスユニテック(株)一級建築士事務所
(指定代表者変更) 大塚 穂

川崎支部

株式会社Kプランニング一級建築士事務所
(事務所名・所在地・TEL・FAX変更)
旧) 株式会社研空社一級建築士事務所
〒214-0021 川崎市多摩区宿河原6-5-12
TEL.044-844-6004 FAX.044-844-6691

変更

川崎支部

合同会社 春紫建築設計事務所
(事務所名・FAX変更)
旧) 春紫建築設計事務所 FAX.044-863-8457

大和綾瀬支部

株式会社アドバンスウィング
(所在地変更) 〒242-0029 大和市上草柳3-1-4ウィング大和102

会 勢

平成29年2月15日現在

支部名	平成28年3月末	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	262	266	18	14	4
川 崎	105	108	5	2	3
横 須 賀	52	52	3	3	0
湘 南 三 浦	16	18	2	0	2
藤 沢	28	34	7	1	6
鎌 倉	39	40	4	3	1
茅ヶ崎寒川	18	18	0	0	0
平 塚	21	21	1	1	0
秦 野	18	19	1	0	1
伊 勢 原	9	8	0	1	-1
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	34	33	0	1	-1
座 間	13	15	3	1	2
海 老 名	15	16	1	0	1
愛 川	7	7	0	0	0
相 模 原	75	72	0	3	-3
県 西	41	41	2	2	0
合 計	772	787	47	32	15
賛助会員	74	84	10	0	10

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

～受賞のお知らせ～

この度、当会建築物耐震改修評価特別委員の洪忠憲氏が、一般財団法人日本建築防災協会平成28年度耐震改修優秀貢献者表彰「日本建築防災協会理事長賞」を受賞されました。表彰式が2月21日に、東海大学校友会館にて執り行われました。おめでとうございます。

編集者のつぶやき

平成29年1月27日40周年記念行事お疲れ様でした。
今回広報情報委員の一員として40周年記念誌の編集に携わらせていただきました。40歳、人生でいえば一番の働き盛り、ここまで会を育てていただきました、親も同然の諸先輩方に感謝の意を表するとともに、次は私たちが次世代を育てる番かと思いつつ、次の10年の子育て方を模索しています。
ちょうど1年前の3月1日、最初の記念誌の打合せを行い、共通認識としてストーリー性を持たせて見て楽しめる記念誌にすることになりました。いかがでしたでしょうか。
10年の歩みを編集していると、短い期間での中越沖地震や東日本大地震の発生、そしてこの1年の熊本地震、鳥取県中部地震、台風上陸・洪水、大火とさまざまな自然災害に巡り合い、また、オリンピック施設や豊洲の市場問題、一昨年の杭偽装事件等、建築の本質に対する一般の方の注目が増す中、私たちの活動をいかにわかってもらい、また、頼ってらえるかという行動が次の十年に継げる一つの手段ではないかと思いつつ、50周年に向かって邁進していきたいと思えます。

【横須賀支部 小泉 厚】



かながわ 平成29年3月号 (通号407号)

発行 平成29年3月1日 (奇数月1日発行)
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小渡 佳代子
・ 広報情報委員長 白川 正孝
・ 広報情報副委員長 三村 邦彦 小泉 厚
・ 広報情報委員 雨森 隆子 恩田 耕爾 清田 鈴美子
・ 新倉 良一 小井口 英寿 坪井 教一
・ 杉本 勝郎 神尾 明美
・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙

建長寺の白梅

冬日和の続く季節 北鎌倉を散歩していると白梅が咲き始めていました。桜ほど派手ではないというものの、「松竹梅」の末席に位置するほど馴染みの深い「梅」。今年もまた春の到来を告げています。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association